

《令和5年度版 夢と感謝の心を大切に、桑村小創立150周年》

夢の扉を開く、創立150周年！

桑村小学校 令和5年11月24日 No.10 文責 渡邊

桑っ子の「夢」を大切に 「はごろも『夢』講演会」の開催に感謝！

今回の『夢の扉を開く、創立150周年』では、桑っ子の「夢」を大切に開催した「はごろも『夢』講演会」（はごろも教育研究奨励会主催）を振り返ってみたいと思います。

この「はごろも『夢』講演会」は、令和4年度の夏頃から計画してきました。創立150周年という節目を記念して、「はごろも『夢』講演会」を実施しようと企画したのです。

令和5年度の学校教育目標は「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」です。この学校教育目標を大切に、オペラ歌手の水船桂太郎さんを講師に招き、「夢に向かって～自分らしくチャレンジする～」をテーマに、コンサートと講演会の二部構成で行うことを、はごろも教育研究奨励会の「はごろも『夢』講演会」に応募し、採用され実現することになりました。

第一部の「オペラのコンサート」では、テノール歌手の水船桂太郎さん、ソプラノ歌手の大原一姫さん、ピアニストの松本康子さん、そして函南町出身であるアコーディオン奏者の杉山卓さんによるコンサートを行いました。曲目は、「まっかな秋」など子供たちがよく知っている秋にまつわる歌や、「パパパの二重唱」（オペラ『魔笛』より）等の本格的なオペラの歌唱を鑑賞しました。初めてオペラを鑑賞する子供たちにとって感動ある体験となりました。



【オペラのコンサートの様子】

また、子供たちにとって馴染みのある楽曲では、一 緒に歌ったり、歌に合わせて体を揺すったりして楽しむ姿が見られました。特に、「フニクリ・フニクラ」では、子供や教職員、保護者も参加し、演者の方たちと音楽の素晴らしさを体感することができました。

第二部では「夢に向かって～自分らしくチャレンジする～」をテーマに、水船桂太郎さんによる講演を行いました。本校の学校教育目標が「夢に向かい感性を育む桑っ子」とあるように、「夢」をもち、それに向かって努力することの大切さについてお話いただいたことは大きな成果となりました。

水船さんが私たちと同じ静岡県出身であるということが子供たちの興味を高めたようです。浜松市の中学校でご自身が中学校の教師として仕事をされていたが、どうしても「プロのオペラ歌手になりたい」という夢を抱き退職し、イタリアへ留学したという内容に子供たちは驚くと共に、「夢」をもつことの大切さを強く感じたようでした。

そして、「夢」はいつまでも続くというところに水船さんの話のすばらしさがありました。それはどういうことかと言うと、ヨーロッパの歌劇場のステージに立つという新たな夢をもち、それを実現したというのです。

子供も私たち教師も、「夢」に向かって歩み続ける大切さを強く感じることができました。今回、「はごろも『夢』講演会」で、すばらしいオペラのコンサートと講演会を主催してくださったはごろも教育研究奨励会に心よりお礼申し上げます。